

STEP UP

第6学年
第10号
令和4年7月6日

地域まるごとふれあい行事

7月1日（金）は地域の方をお招きして、地域まるごとふれあい行事を行いました。今年の地域まるごとふれあい行事では、1年生・2年生・6年生・地域の方で昔の遊びを中心とした5つの種目を行いました。コマの回し方や紙飛行機の折り方、竹馬に乗るコツなど、子どもたちは地域の方に教わりながら楽しんでいました。6年生は運営として、約1ヶ月前からこの行事の準備を行ってきました。事前に地域の方と打ち合わせを行い、紙飛行機の折り方を習ったり、道具の準備をしたりしていました。また、それぞれが4月の1年生を迎える会の運営の反省を生かすという目標をもって取り組むこともできました。



こままわし



竹馬



めんこ



紙ひこうき



お手玉



私は、金曜日の地域まるごとふれあい行事で、全ての班がとてもスムーズに進んでいても安心しました。班ごとに分かれて遊んでいる時は、地域の方も一・二年生もとても楽しんでいました。特に竹馬では、最初乗れていなかった二年生がいたけど、地域の方に「一緒に練習しよう。」と誘ってもらって練習をしていました。何分かしたらその子が一人でできるようになって、「できた！」と喜んでいました。それを見たみんなも「できたね。」とか「よかったね。」と言いつつ合っている姿がたくさんありました。自分たちが運営した行事でたくさんの方が楽しんでくれて本当によかったです。

後田 悠梨香

地域まるごとふれあい行事の地域の方はとても真剣だった。いろんな遊びの時に、一生懸命できるように教えてくださった。コマ回しの部屋に行った時は、一人が成功すると、「すごいなあ。できとるで。」とほめてくださった。最後も「楽しかったで。」と喜んでくださった。「竹馬楽しみ。一番得意なんよ。」と喜んでいて、自分たちが考えたことで楽しんでくれていることが本当にうれしかった。運営をする上では、地域の方に手伝っていた部分もあり、六年生として反省する点もあった。今度は前もって準備ができるように、今日の反省を次に生かしていきたい。

赤繁 柚乃

山口大学の留学生との交流

7月4日（月）は山口大学の留学生との交流会でした。留学生はマレーシアから来た4名の女性で、日本語を習いたての方たちです。児童が先生となって、桃太郎の話を読み、留学生の4人が復唱しながら日本語を勉強しました。また、マレーシアの食文化や昔話についても教えてもらうことができ、児童は新しい文化に触れることができました。



僕は、今日の交流で自分たちも学習できたのでよかったです。理由は通訳の人が使っている英語を聞くこともできたからです。他にも日本語をゆっくり言うのは、意外と難しいんだなと感じました。でも、何かを伝える時は、相手がどんな人かを考えた上で、スピードにも気を付けながら話すことができるようにしたいです。

片山 大輔



最初は4人に日本語がきちんと伝わるか不安だったけど、言ったことを繰り返してくれたり、難しい時は「もう一度」と言ってくれたりしたのでよかったです。また、いつも使っている言葉を少しずつ切りながら言うのは難しかったです。今回の交流を通して、他の国の人も何かの関わりをもち、仲を深めてみたいと思いました。

片山 和